

ナチュラリストの

フィールド日記

317

中川宗孝(環境生物研究会・城陽環境パートナーシップ会議)

新種の淡水魚・ナガレカマツカ顛末記(下)

昨年度に新種登録された溪流に生息する淡水魚・ナガレカマツカ発見に奔走した今夏、コロナウィルス緊急事態宣言でナチュラリストのライフワークを果たせなかったうっぴんを晴らす成果を得て、9月の声を聞いても暑い暑いハイテンションなフィールド活動を続けています。

9月10日付の本紙に於いて、『新種の淡水魚発見！和束町でナガレカマツカ捕獲』の記事を掲載いただいたことで、当「フィールド日記」での活動報告を裏付ける取材記事は、郷土の文献資料としても公的な意義を有するものとなりました。今回取材いただいた谷口記者には、日本一の大スッポンの捕獲や京都府の希少野生生物に指定のダルマガエルの発見やオオタカの保護放鳥など、ふるさと城陽のお宝生物の記録から生態系を攪乱する外来生物たちの侵入時期と被害状況など、過去20余年間にわたって次代に伝える野生生物たちの資料記事を残してもらっています。これからは、ナチュラリストの後継者たちが理解あるプレスマンの協力を得て、貴重な郷土の文献資料たる報道記事の発信が引き継がれることを期待しています。

さて、これまでの絶滅種・コガタノゲンゴロウの再発見や、京都府・南山城地方で新発見した幾多の生き物たちが幸運な偶然の産物であったのに対して、今回のナガレカマツカは生息確認の目標を達成した特別な想いがありました。9月12・13日に開催された和束町の生き物調査の展示会報告を終え、期待に応えられた安堵感と新種発見の余韻に浸りながら、次なるチャレンジの気概に燃えているナチュラリストです。年頭の「ナチュラリストからの年賀状」では、日本一の大スッポンのリベンジに挑む初夢を語っていますが、その相棒の足田努先生・水野尚之先生とも半年ぶりに再会を果たして来るべき日に想いを寄せています。

まだまだ日常生活には程遠く、フィールドを謳歌する余裕もないのが現状ですが、和束町の野生生物生息調査の記録が活かされ、編集作業が始まった「生き物ガイドブック」を携えての自然観察会の開催を今から心待ちにしているナチュラリストです。今回、普通種のカマツカと似て非なる清流の新種登録魚・ナガレカマツカ発見記の最終報告は、選びきれない活動記録写真の中から厳選してのフォトレポートです。ナチュラリストの最後？のご奉公の地・和束町で見つかったお宝生物をご覧下さい。



◎ナガレカマツカ発見記
9月10日、本紙に新種の淡水魚・ナガレカマツカ発見！の記事が掲載されました。(写真①) 希少野生生物の保護と生息環境の保全をライフワークとするナチュラリストの活動

◎ナガレカマツカ発見記
に理解があり、郷土の環境資料となる多くの取材記事で20年来お世話になってきた谷口記者には、これからの全国発信の大スッポンで恩返しすべく夢も新たに燃えています。今回のナガレカマツカ発見に至る最大

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

活動の場を与えていただいた教育委員会町史編さん室の尾野和広先生(写真⑩)右に、やっぱり今回も「持っている奴」を実証したジュニアメンバー・松井優樹君と共に、ナガレカマツカ発見の恩返し報告で、倍返し！演出を果たせました。

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

◎ナガレカマツカ発見記
の功労者が、京都府やアフリカの外来のレッドデータブック・淡水魚の執筆者の林博之先生(写真②)で、川漁師を名乗るナチュラリストが全幅の信頼を置く専門家です。これまでも、絶滅寸前種で野生絶滅とされていたカワバタモロコ

